

2023

令和5年5月29日

第14号

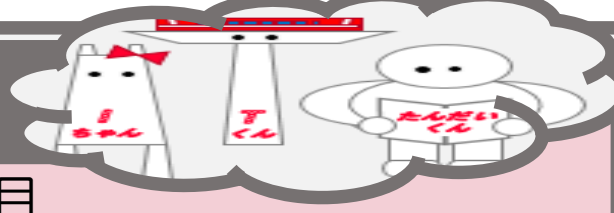
(通算60号)

IBARAKI Prefectural Junior College of Industrial Technology

IT短大VIEW!



1 就職合格、嬉しい報告!



本校で学ぶIT専門技術と卒業生の活躍が注目されています。合格を頂いた企業と学生は次のとおりです。

- 「株式会社アクモス」吉岡勇樹（玉造工高卒）さん
- 「株式会社クリエイティブ・ソフト」清和杏羽（茨城東高卒）さん
- 「常陽コンピュータサービス」柏海成（笠間高卒）さん



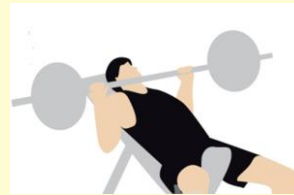
吉岡勇樹さん

清和杏羽さん

柏海成さん

Q1 これからのIT活用と抱負?

- A1 吉岡さん「人の笑顔を生み出すエンジニアを目指します」
 清和さん「人のお手本になるようなIT技術者です」
 柏さん「相手の意図をくみ取れる技術者です」



Q2 あなたの趣味は?

- A2 吉岡さん「筋トレとプログラミングです」
 清和さん「コスメや洋服を買ったり情報をキャッチすることです」
 柏さん「ボードゲームです」



Q3 本校での学びと成果は?

- A3 吉岡さん「高校生の時に比べてコーディング力がとてもあがりました」
 清和さん「コミュニケーションやプログラミングの力が付きました。また、課題に取り組み最後までやり遂げる力が付きました」
 柏さん「プログラミング力や、社会人基礎力を学ぶことができました」

2 ChatGPT、どう使う

生成AIが注目されていますが、本学では「ChatGPTとの今後の付き合い方」と題した職員研修が実施されました。

担当した佐藤先生は、教育や産業の利用に注目されている生成AIの「できること」、「できないこと」を理解し扱い方について情報共有を進めるための報告を行いました。

佐藤先生は、授業で学生に利用させ、アンケートを実施したところ、「半数以上が役立ったと回答としているが、31・3%しか信頼を得ていない」との言葉が印象的でした。

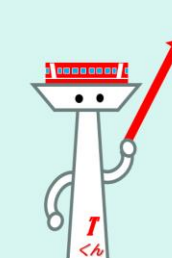


職員研修会の様子

ChatGPTとの今後の付き合い方
~IT短大の例を紹介~



話題沸騰中、ChatGPTって何に使える?
日常業務や教育訓練教材作成に役立つかも



ChatGPTで“できること”と“できないこと”
~具体例を含めて説明します~

茨城県や他大学の
生成AI利用に対する見解の紹介

教育訓練利用時の注意事項の紹介



3 新聞を読む学生

本校では、「専門力」に加えて「社会人基礎力」の向上のために、新聞スクラップを実施しています。IT社会を支える人材育成の一環となるものです。

<記事> 読売新聞(2023年4月7日)
AI使い論文 揺れる科学誌

◇要約

●坂井恭吾さん(水戸桜ノ牧高卒)
チャットGPTの使用を制限するなどの対応を取り始める科学誌が出てきた。

一方で、チャットGPTを活用し、文章を読みやすくするなどの用途であれば、明記した上で使用を認める科学誌もある。

◇感想

●米柳綾佑さん(佐和高卒)
精度の高い文章が生成でき、論文作成にとっても便利となった。
しかし、これに任せていたら、人の考える能力が低下しよりAIに浸食されていくのではないかと思いました。慎重に考えて使うべきだと思った。

●坂井恭吾さん(水戸ノ桜高卒)
チャットGPTの普及により、今まで人間が行ってきた作業が、AIに取られてしまうのではないかと思った。
また、自分が考えるという事をせずAIに任せてばかりいると、自分自身の能力が落ちてしまうと思った。

●小針向葵さん(日立商高卒)
私がこの記事を読んで印象に残ったのは、「ルールを緩めるのは厳しくするよりもはるかに容易だ」という文章です。

私はルールは、自由に過ごすためにあると思います。ルールについて柔軟に対応することが必要だと思いました。

●金子翔梧さん(水戸工高卒)
AIを使って論文が作れるような世の中になっている。しかし、それを使わなければ文章が作れないような人が増えるかもしれない。

この記事にあるように、AIに頼り過ぎないようにしようと思う。

